

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鈴鹿大学
設置者名	学校法人享栄学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
国際人間科学部 2019.4 募集停止	国際人間科学科	夜間 通信	0	6	56	62	13		
国際地域学部 2019.4 設置	国際地域学科	夜間 通信		4	46	52	13		
こども教育学部 2017.4 設置	こども教育学科 幼児教育学専攻	夜間 通信		9		51	60	13	
	こども教育学科 養護教育学専攻	夜間 通信				41	50	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

別添一覧表、2020年度からはシラバスによる公開を予定

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鈴鹿大学
設置者名	学校法人享栄学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web サイトにて公表 <https://kyoei.mie.jp/officer.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 株式会社 参与	3年	理事長補佐
非常勤	現 弁護士	3年	コンプライアンス 担当
非常勤	元 学校法人理事	3年	教学改革担当
非常勤	現 金融会社専務取締役	3年	総務担当
非常勤	現 一般社団法人理事	3年	スポーツ教育担当
非常勤	現 学校法人理事長	3年	高大連携担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鈴鹿大学
設置者名	学校法人享栄学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p>	
<p>1. 授業計画(シラバス)の作成過程</p> <p>(1) 各授業の代表教員はガイドラインを定めた「シラバス作成要領」を基にシラバスを作成する。</p> <p>(2) 各教員が作成したシラバスを、「第三者チェック」として、教務担当及び学部教員、学部長が記載内容を確認し、必要に応じて修正を指示した後に確定した内容を Web 公開している。</p>	
<p>2. 授業計画(シラバス)の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス作成入力 12月中旬～1月中旬 ・教務担当者確認 1月中旬 ・教員の相互確認 1月中旬～下旬 ・学部長確認 2月上旬～下旬 ・フィードバック・修正 3月上旬～中旬 ・Web 公開 3月下旬 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>シラバスは次のホームページにて公開 鈴鹿大学 https://www.suzuka-iu.ac.jp/campuslife/syllabus.html</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

次のとおり教育課程を設置し、単位の認定及び学習成果の評価を行っている。

1. 教育課程と履修単位

1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

なお、授業科目には、必修科目及び選択科目があり、内容により、教養基礎分野(外国語、日本語、情報科目、初年次教育、実務教育科目含む)、専門基礎分野、専門分野として科目を開設する。

また、各授業科目の計算の基礎は、次のとおりとする。

- ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合には、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
(鈴鹿大学学則第29条)

2. 単位の授与

試験の上、成績を判定し単位を授与
(鈴鹿大学履修規程第9条)

3. 試験の方法

筆記、実技、口述試験のほか、論文又はレポートの審査
(鈴鹿大学試験規程第3条)

4. 学修成績の評価

履修成績は定期試験等と平常の成績を考慮し、次の基準により評価している。
(鈴鹿大学履修規程第10・11条)

評価	点数	合否	備考
秀	100~90	合格	S
優	89~80		A
良	79~70		B
可	69~60		C
不可	59以下	不合格	D
失格	-		E

また、成績通知後に学生からの疑義申立期間を設けることで、成績評価の公平性を保っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAの算出方法と活用

次の成績評価によりGPAを算出し、学生の修学指導のほか、各種の支援に活用している。(鈴鹿大学履修規程第12条)

評価				GP
秀	100~90	基本的な目標を十分達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。	S	4
優	89~80	基本的な目的を十分に達成している。	A	3
良	79~70	基本的な目的を達成している。	B	2
可	69~60	基本的な目的を最低限達成している。	C	1
不可	59以下	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である。	D	-
失格	-	欠席が多い等、試験の対象外	E	-

GPA=各科目の(単位数×ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

なお、GPAは、各学期末に学生へ交付する成績通知に記載することで、自らの学びの指標とするよう指導している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

鈴鹿大学キャンパスガイド 2019 p78-83

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

建学の精神に基づき卒業の認定方針を定め、教育の実施に関する基本的な方針により卒業に必要な履修基準を定めている。

1. 卒業の認定に関する方針の具体的な内容

学部毎に卒業の認定方針を定め、教育の実施に関する基本的な方針により卒業に必要な履修基準を定めている。

※各方針の具体的な内容は(3)学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要参照

2. 卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

学則第5節に卒業の要件、第3節に教育課程及び履修方法を定め、具体的な実施については、履修規程及びキャンパスガイドに定めた内容に基づいて行っている。

学部毎の特色

国際地域学部 (国際人間科学部)

広範な知識を身に付けられるよう幅広い分野の科目設定と柔軟なカリキュラムを設けている。

こども教育学部

各専攻が想定する教育職の養成に必要な科目を開設し、教育現場でリーダーシップを発揮できる知識と実践力を段階的に学ぶカリキュラムを設けている。

(1) 卒業要件

4年以上在学し、履修規定に基づき124単位以上を修得

(2) 進級要件

国際地域学部 (国際人間科学部)

4年次への進級には、3年次演習Ⅰ・Ⅱを修得していること

キャンパスガイド2019 p37

なお、幅広い分野から柔軟に学べるカリキュラムのため学年ごとの修得単位を定めていない。

こども教育学部

学年ごとの修得単位は定めていないが、2年次以上で設定されている保育・看護・教育実習などの外部実習科目にGPA等の参加資格を定めている。

・前学期末のGPAが2.0以上

・1、2年次の専門教育科目を全て履修済みもしくは履修中、など

キャンパスガイド2019 p42-55

卒業の認定に関する
方針の公表方法

3つのポリシー

鈴鹿大学 URL <https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/admissionpolicy.html>
キャンパスガイド2019

鈴鹿大学 三つのポリシーp2-5、学則 p133-161

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鈴鹿大学
設置者名	学校法人享栄学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kyoei.mie.jp/pdf/bs30.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://kyoei.mie.jp/pdf/shikin30.pdf
財産目録	https://kyoei.mie.jp/pdf/zaisan30.pdf
事業報告書	https://kyoei.mie.jp/pdf/jigyos30.pdf
監事による監査報告(書)	https://kyoei.mie.jp/pdf/kansa30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: Web公開 URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/disclosure/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: Web公開 URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/disclosure/index.html

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際人間科学部
教育研究上の目的(公表方法: Web公開) URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/admissionpolicy.html
(概要) 国際人間科学部は、国際学と人間科学の諸分野において学際的な教育研究を行うことにより、専門的な知識と豊かな教養、広い視野と柔軟な思考力をもった人材を育成し、ビジネス、ホスピタリティやウェルネスを含めた分野で国際社会と地域社会の発展に貢献することを目的とする。

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：Web 公開）</p> <p>URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/admissionpolicy.html</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人として必要な教養、コミュニケーション能力およびホスピタリティマインド（おもてなしの心）を有すること。 2. グローバルな視野を有すること。 3. 他者や異文化を尊重する心を持ち、グローバル化の進む社会で共に生きる能力を有すること。 4. 時代の変化や社会のニーズを踏まえ、様々な課題に対応して、地域貢献できる実践的な知識とスキルを有すること。 5. 実践で役立つビジネスマネジメント能力と、グローバル社会で求められる多文化共生に必要な知識を有すること。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：同上）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会と地域社会を理解する基礎的知識の修得 <ol style="list-style-type: none"> 6つの専門領域（ビジネス基盤・観光ビジネス・スポーツマネジメント・地域社会・国際・英米語）の一つに所属して学修を進め、グローバル化された地域の実情を認識して、問題を解決する能力を修得する。 2. 現代社会で求められるコミュニケーション能力の養成 <p>日本語と英語を中心とする外国語の総合的な運用能力を高め、他者とのコミュニケーションを円滑にし、自己の意見を主張・発信する能力を習得し、社会で評価されるようになる。</p> 3. キャリア形成につながる社会人基礎力の修得 <ol style="list-style-type: none"> a. 主体的に情報を発信し、行動する力 b. 課題を発見し、解決に導く力 c. 新たな価値を生み出す力 d. 他者の意見を聴き、柔軟な姿勢で多様な考えを理解する力 e. 状況を的確に把握する力 f. 社会の規律と約束を守る力 g. ホスピタリティマインドを持って、コミュニケーションできる力 4. 知識と実践を結びつける教育の重視 <p>地域の諸問題を理解し、実践的に解決する力をつける。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：同上）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 徳性 誠実で信頼される人 2. 国際性 世界に関心があり、世界への知識を広め、世界への理解を深めたい人 3. 地域性 大学で学んだ成果を地域に発信・還元し、地域に貢献したいと考える人 4. 多様性・主体性・協働性：時代の変化を越える教養を身につけながら、変転する現代社会を読み解く知性を磨き、それに対応する多様な知識とスキルを修得し、主体性を持ちながら他者とコミュニケーションを取って協働して行動する人

学部等名 国際地域学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：Web 公開）</p> <p>URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/academics/international_region/</p>
<p>（概要）</p> <p>地域の中の「世界」を見つめる。</p> <p>社会・経済の急速なグローバル化が進む中、人口減少や大都市集中化、経済社会の二極分化が進み、地域創生が国の政策課題となっています。地方都市に所在する本学の国際地域学部には、社会的な要請に応え、これらの課題解決に貢献する人材の養成を目指すため、国際コース、地域コース及びビジネスコースの3コースがあります。</p> <p>なお、一定数の外国人留学生を受け入れることで、異文化を自然な形で感じられるキャンパスを目指しています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：Web 公開）</p> <p>URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/admissionpolicy.html</p>
<p>（概要）</p> <p>4年以上在学し、履修規程に基づき124単位以上を修得します。</p> <p>なお、次の学士力が身に着くよう教育課程及び履修基準に基づいて学修を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会・文化に関する広範な知識を身につけ、世界的な視野をもって地域の課題の発見と解決ができる。 ・他者との円滑なコミュニケーションができ、社会で与えられた役割を、他者と協同で行うことができる。 ・社会人としての高度な教養を身につけ、主体性をもって行動することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：同上）</p>
<p>（概要）</p> <p>求める学士力が身に付けられるよう次のとおり教育課程を編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際地域学部の教育課程は、「専門科目」、「コース共通科目」及び「教養科目」で構成する。 ・教養科目は、英語、外国語としての日本語を中心とする語学、情報処理科目、及び一般教養科目から構成し、社会を生き抜くために必要となる基礎学力と教養を身につける。 ・コース共通科目は、3つの専門コースの学びの内容に共通する授業科目から構成する。コースを選択し専門科目を履修するに当たり、必要となる知識を身につける。 ・専門科目は、教養科目及びコース共通科目の学びを展開して、国際コース、地域コース、ビジネスコースの3つのコースそれぞれの学びの内容に特化した授業科目から構成される。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：同上）</p>
<p>（概要）</p> <p>次の4つを持つ者が入学し意欲的に学ぶことを期待しています。</p> <p>なお、学部の特色として一定数の外国人留学生を受け入れていますので、異文化の風を積極的に取り入れられる人を望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[関心・意欲] 建学の精神「誠実で信頼される人材に」に基づく人間性に関心を寄せ、成長とする意欲をもっていること。 ・[知識・技能] 高等学校での学びを通して、その内容を理解し、本学での学修に必要な基礎学力を身につけている。 ・[思考・判断・技能] 他者の意見をしっかりと聴き、自身の意見をわかりやすく他者に伝える姿勢をもつ。 ・[主体性・国際性] 広い視野を持ち、グローバル化する地域社会の課題を、多様な人々と協働して解決しようとする態度をもつ。

学部等名 こども教育学部
教育研究上の目的（公表方法：Web 公開） URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/admissionpolicy.html
<p>（概要）</p> <p>教育に係る基本方針</p> <p>教育基本法及び学校教育法の精神に則り、建学の精神に基づき、広く知識を授け、専門の深い学芸を教授研究し、豊かな人間性を涵養することで、高度で専門的な職業的教育を目的とし、国際社会及び地域社会の発展と向上に寄与し得る人材育成を使命としています。</p> <p>教育目的・教育目標</p> <p>「誠実で信頼される人に」という建学の精神に則り、専門的な知識と豊かな教養、広い視野と柔軟な思考力を持ち、感受性豊かな人材を養成し、地域社会の発展に寄与することを教育理念とし、「多文化共生を理解し、人間愛に基づく広い視野を持った人」「自ら獲得した教育研究の成果を地域社会に還元し、地域社会の請に応えられる人」「社会的責任と役割に自覚し、他人と協働できる人」という人材の養成を目的としています。</p> <p>また、教育・保育の専門家として、専門的な知識と実践的な技術を身に付け、教育者・保育者としての使命と責任感を持ち、地域貢献や社会貢献に資する人材の養成を教育理念とし、次代を担うこどもたちの育成、発達支援をする人物としてふさわしい養護教諭、幼稚園教諭・保育士等の養成を目的としています。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：同上）
<p>（概要）</p> <p>4年以上在学し、履修規程に基づき124単位以上を修得します。</p> <p>なお、次代を担うこどもたちの育成・発達支援をする人物としてふさわしい養護教諭、幼稚園教諭・保育士養成を目的にしています。そのために必要な「土台となる力・生きる力・つながる力」という3つの資質を、卒業時に学生が身につける能力と定めています。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：同上）
<p>（概要）</p> <p>求める学士力が身に付けられるよう次のとおり教育課程を編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体系的な学び <p>基礎教育科目と専門科目に分けて体系的に学びます。</p> <p>基礎教育科目では、必要な基礎学力の養成、幅広い教養の修得、卒業後の自立への意欲形成を図るための科目です。</p> <p>特に、地域社会について主体的に学ぶ「鈴鹿学」を必修としているのが特徴です。</p> <p>専門科目は、専攻毎の人材育成目的に沿って、体系的に科目を配置し、各科目の理解を深め、実践力を養うため、実験・実習・演習を重視しています。</p> ・キャリア教育 <p>基礎教育科目および専門科目に学年に応じたキャリア形成に資する科目を設定し、キャリア教育を組み入れています。</p> <p>また、共通専門科目や、所属する専攻以外の科目も履修可能にし、幅広い学びにより、自らの可能性を見出し、職業人としての志望を実現できるよう支援しています。</p> ・学外の教育活動 <p>理論と実践の一体的理解を図り、能動的な学修や生涯にわたって学び続ける力を養うために、学外学習・インターンシップ・ボランティア活動も配置しています。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：同上）
<p>（概要）</p> <p>次の5つを持つ者が入学し意欲的に学ぶことを期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校で幅広く学び、本学での学修に必要な基礎学力を有している人 ・自らの考えを、他人に文章などでわかりやすく伝えられる人 ・主体性を持った行動ができ、多様な人びとと協働できる力をもっている人 ・教育に広い関心を持ち、地域社会へ貢献したいという意欲がある人

- ・広く子どもたちに対して愛情と思いやりの心をもっている人
なお、専攻の特色から次のような人を望みます。
- 幼児教育学専攻
- ・音楽、体育、美術等の基礎知識および技能を有している人
 - ・保育や教育に強い関心を持ち、学ぶ意欲がある人
 - ・社会福祉や保育について自ら考え、それを表現できる人
- 養護教育学専攻
- ・国語、生物、保健等の基礎知識および技能を有している人
 - ・健康や教育に強い関心を持ち、学ぶ意欲がある人
 - ・教育やいのちの大切さについて自ら考え、それを表現できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：Web 公開 URL <https://www.suzuka-iu.ac.jp/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
国際人間科学部 2019.4 募集停止	—	9人	3人	4人	人	人	16人
国際地域学部 2019.4 設置	—	3人	3人	人	人	人	6人
こども教育学部 2017.4 設置	—	8人	5人	2人	1人	人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		38人					39人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：公表方法：Web 公開 鈴鹿大学 URL https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/professors/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際人間科学部(2019.4 募集停止)	—	—	—	300人	305人	101%	20人	50人
国際地域学部(2019.4 設置)	120人	144人	120%	120人	144人	120%	10人	3年次編入のため 未実施人
こども教育学部(2017.4 設置)	50人	29人	58%	200人	70人	35%	5人	1人
合計	170人	173人	101%	620人	519人	83%	35人	51人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際人間科学 学部	66人 (100%)	1人 (1.5%)	55人 (83.3%)	10人 (15.2%)
合計	66人 (100%)	1人 (1.5%)	55人 (83.3%)	10人 (15.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際人間科学 学部	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>次のとおり教育課程を設置し、単位の認定及び学習成果の評価を行っている。</p> <p>教育課程と履修単位</p> <p>1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。</p> <p>なお、授業科目には、必修科目及び選択科目があり、内容により、教養基礎分野（外国語、日本語、情報科目、初年次教育、実務教育科目含む）、専門基礎分野、専門分野として科目を開設する。また、各授業科目の計算の基礎は、次のとおりとする。</p> <p>① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。</p> <p>② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。</p> <p>③ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合には、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。</p> <p>(鈴鹿大学学則第29条)</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
次のとおり単位の認定及び学習成果の評価を行っている。

1. 単位の授与
試験の上、成績を判定し単位を授与 (鈴鹿大学履修規程第9条)
2. 試験の方法
筆記、実技、口述試験のほか、論文又はレポートの審査 (鈴鹿大学試験規程第3条)
3. 学修成績の評価
履修成績は定期試験等と平常の成績を考慮し、次の基準により評価するとともに GPA を算出し、学生の修学指導のほか、各種の支援に活用している。

評価				GP
秀	100~90	基本的な目標を十分達成し、ぎわめて優秀な成果をおさめている。	S	4
優	89~80	基本的な目的を十分に達成している。	A	3
良	79~70	基本的な目的を達成している。	B	2
可	69~60	基本的な目的を最低限達成している。	C	1
不可	59以下	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である。	D	-
失格	-	欠席が多い等、試験の対象外	E	-

GPA=各科目の(単位数×ポイント)の合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)
なお、GPAは、各学期末に学生へ交付する成績通知に記載することで、自らの学びの指標とするよう指導している。
このほか、一部の科目にルーブリック評価を導入している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際地域学部 (2019.4設置)	国際地域学科	124単位	有	24単位/学期
国際人間科学部 (2018.4入学まで)	国際学科	124単位	有	24単位/学期
こども教育学部 (2017.4設置)	こども教育学科	124単位	有	24単位/学期
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：無		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：無		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.suzuka-iu.ac.jp/wp-content/uploads/2016/08/kouti_kousya_201703.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
国際人間科学部 (新3-4年)	国際人間科学科	560,000円	300,000円	270,000円	
国際地域学部 (新2年)	国際地域学科	560,000円	300,000円	270,000円	
国際地域学部 (新1年)	国際地域学科	830,000円	300,000円	0円	
こども教育学部 (新2年~)	こども教育学科	750,000円	250,000円	310,000円	
こども教育学部 (新1年)	こども教育学科	1,060,000円	250,000円	0円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

・教員による支援（セミナー・ゼミ担任制）

○国際地域学部（国際人間科学部）

1・2年は、複数担任制となっており、大学の学びに必要なスキル、専門科目の基礎的な知識、学生生活や授業等でわからないことなど、気軽に担任の教員に相談できます。

3年生からは卒業論文の執筆に向けて、専門コースのゼミ担任制にシフトし、専門領域のディスカッションをはじめ、ゼミ旅行や食事会などにより、交流を深めています。

○こども教育学部

1・2年は基礎ゼミナール、3・4年はゼミナールが必修であり、全学年を通じて個々の学生に指導担当の教員が配置されます。大学の学びに必要なスキル、基礎・教職・専門科目、学生生活や授業等でわからないことなど、気軽に担当教員へ相談できます。担当以外の専任教員も、オフィスアワー等を活用して学生との懇談や個別指導を行っています。

また、学部長懇談も実施し、学生の提案など学部や大学全体の改善に生かしています。

・教務・学生支援課の支援

学生の学内外での活動や、学生生活が楽しく円滑に進められるように支援するのが教務・学生支援課です。学習全般から各種手続き・各種証明書の発行などを行っています。

学生の様々な相談に応じていますので、気軽に窓口に来てください。

窓口開室時間 月～金曜日 9:00～17:30 場所：A棟1階

・オピニオン・ボイス

学生生活の様々な問題を感じたら、大学側へ文書で意見を伝えることができます。

本学教職員は常に大学の改善を考えていますが、学生の視点に基づく意見・アイデアも大変重要であると考えています。その文書の内容によって、担当部署が検討し、それぞれの立場から回答します。それを、学内に掲示して、問題解決の周知を心がけています。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

就職支援の取組

・一人ひとりの就職活動をきめ細かくサポート

担当スタッフとゼミ担当教員が連携し、学生一人ひとりの進路について指導を行っています。特に面談を中心とした個別指導に力を入れています。エントリーシートの書き方などもきめ細やかに指導しています。

・インターンシップを単位認定

インターンシップは単位認定された研修であり、積極的な学習意欲を養い、実社会の体験を活かし、職業観の向上を目指し取り組んでいます。本人の希望に添った研修先に行けるよう努めています

主なインターンシップ先

官公庁・企業関係：津市役所、松阪市役所、三重銀行、三重日産自動車など

旅行・ホテル関係：JAL スカイ東京、三重交通、帝国ホテル、名古屋観光ホテルなど

・就職支援専用ウェブサイトで求人情報を公開

求人票の検索や各地で開催されるセミナーの紹介、就職支援ウェブサイトへのリンクなど24時間就職への支援を行っています。

・卒業後もフォロー

東海地区の就職内定先へのお礼訪問を実施しています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

健康管理センターの取組

健康管理センターでは、学生のみなさんがキャンパスライフを十分にエンジョイすることができるよう、からだところの両面から健康管理を行う施設です。

年に4回「健康管理センター便り」を発行し、みなさん自らが健康管理を行えるように支援しています。

保健室では、健康診断に伴う健康調査を行い、学生生活上必要な情報を把握し、健康管理を行います。また、感染症の流行情報を把握し、予防のための指導や措置も行います。さらに、体調不良、不慮の事故等の対応、応急処置・看護を行います。

学生相談室では、こころとからだの相談、進路、学習、友達関係などの悩みなどをお聴きしています。基本的には予約制になりますので、保健室で予約してください。

保健室 開室時間：月～金曜日 9:30～17:30 場所：D棟1階

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：URL <https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/disclosure/index.html>